

# 2022 下半期

## 先生達とPTA会長から 三年生へのメッセージ

Where there's a will,  
there's a way  
意志あるところに道はひらける  
Good Luck MESSAGE TO YOU Ogata

笑う門には福来る  
笑顔が合うみんなの溢れ  
これからの人生が笑顔で溢れ  
ますように♡  
MESSAGE 三馬 亮子

卒業おめでとう!!  
人生のしあわせは  
いつも自分のバグがきめず  
幸多からんことを願っています。  
MESSAGE TO YOU 高木 健也

卒業おめでとう  
ございます!  
三年間、みなさんと一緒に家庭科  
の学習ができて、楽しかったです。調理が  
できなくて、自立して生活ができて  
嬉しいです。お母さんありがとう!  
MESSAGE TO YOU 松川 幸子

一年間だけの出会いでしたが、授業、  
行事ととても楽しく過ごせました。  
本当にありがとうございます! 今後の君たちの  
人生が幸多いものになることを願って  
います! 好きです! 三中!  
MESSAGE 松本 夕

新たな旅立ちにあたり、大切な言葉と贈り物。  
人間は、一生のうちで逢うべき人には必ず逢える。  
しゅ、一瞬早すぎ、一瞬遅すぎない時に。(森信三)  
君たちと生逢えてよかった! 卒業おめでとう!!  
MESSAGE 校長 森川 孝巳

『終わりは始まり』  
卒業おめでとう。  
PTA 会長 MESSAGE TO YOU 大迫 克美

### ★編集後記★

本広報誌編集にあたり、生徒たちの姿を身近で見て、また集まった写真を見て、その時・その瞬間、彼らが「何を思っていたのか」、「何を感じていたのか」、そして「何を学んでいるのか」を考え、それを言語化する作業は、時に悩ましく、時に楽しい時間でした。

そんな子供たちの思いと対峙している時、改めて“教育”についても考えました。

数学や国語で100点をとれるようにすることが教育の目的か?、当然それも大切な目的の一つですが、私はそれだけではないと思います。

では何が教育か、その答えは子供たちの笑顔にあるのではないかと思います。

何を以て幸せを感じるかは人それぞれの価値観に拠るものです。それを強制することはできません。

試合に勝って幸せを感じる子もいれば、みんなと楽しく試合をすることで幸せを感じる子もいます。

それは当然だし、それで良いと思います。時にそれを「価値観の違い」と表現することがあるかも知れませんが、善悪で決するものではありません。

なぜなら、幸せとは自己満足であり、子供たちの数だけ幸せの形があるからです。

この多様な価値観がある中で、またそれを尊重すべきとの立場に立った時、教育がすべきことは何か。

それは“人の不幸”や“人を不幸にすること”を「自身の幸せ」としない価値観を育成することではないかと思います。

普段の授業、部活動や修学旅行、はたまた文化発表会や体育大会、そんな人と人とのふれあいの中で、幸せの在り方を子供たちにはじっくりと育んでもらいたいと思います。

### 【担当職員】

萩峯、坂田、庄島、後藤、栗林  
(順不同・敬称略)

### 【PTA広報委員一同】

前期:宮本、西田、永野、津川、村上、福島、井上、田畑、金岡、原田  
後期:黒崎、柿本、楠田、柴田、西山、杉本、末藤、前川、昌谷  
(順不同・敬称略)

(文) 昌谷 哲